



2011年9月16日

各 位

東京都品川区南大井六丁目 25 番 3 号
日本通信株式会社
代表取締役社長 三田 聖二
(コード番号 : 9424)
問合せ先 代表取締役専務 CFO 福田 尚久
電話 03-5767-9100 (代表)

新市場生んだ 980 円イオン SIM ー モバイルデータ通信のユビキタス化 ー

日本通信とイオンとの協業で生まれたモバイルデータ通信「月額定額 980 円」、いわゆる「イオン SIM」は、販売開始からわずか 3 ヶ月で、一番使いやすい SIM として日本各地で多くの方に親しまれています。「イオン SIM」を作っている日本通信の認知度もあがり、他の事業者から同じ価格の似たような 980 円 SIM が発表されるなど*1、新しい市場が創出されました。

「イオン SIM」は男女問わず幅広い年齢層のお客様が購入されており、マニアやビジネス以外のモバイルデータ通信ニーズが確認できました。ユビキタス、すなわち、意識しない⇒あるのが当たり前、な民生品にモバイルデータ通信がなったのです。

従来の携帯電話はキャリアショップで端末ぐるみのサービスを契約して利用するものでした。しかし、次世代インターネット製品ー無線クラウドコンピューティングの第 1 世代プラットフォームのスマートフォン、タブレットやゲーム機を購入し、これらをユビキタスにつなげられるのが「イオン SIM」なのです。

「イオン SIM」の大好評は、15 年前に日本通信を設立した夢、モバイルデータ通信のユビキタス化にほかなりません。次世代インターネットを日本で成功させるための必要なステップが、またひとつ、ユビキタス製品を日本で一番売っているイオン様との協業により実現しつつあります。

*1 ドコモ 2011 年 9 月 14 日付け報道発表資料「データ通信専用プリペイドプランを提供開始」

■日本通信について

1996 年 5 月 24 日、日本通信は新たなモバイルサービス事業のあり方を提示するため生まれました。それから 13 年の歳月を経て、2009 年 3 月、NTT ドコモとの相互接続により「MSO 事業モデル」を完成させ、それから 2 年弱でこのモデルの収益性を実証しました。ネットワークを効率的に運用する当社独自の先端技術やリアルタイムの認証技術などによって、ユニークな通信サービスをつくりだし、自社 b-mobile ブランド製品をお客様に提供する MVNO 事業、及びメーカーやインテグレータ他のパートナー企業に提供する MVNE 事業を展開しています。

MSO=Mobile Service Operator